



# 立山あおぐ特等席。富山市



## Contents

■ごあいさつ	1	■2023→2024 Topics	16	■まちなか	26
■富山市のあゆみ	2	■スマートシティの推進	16	■福祉	28
■富山市の概要	3	■SDGs未来都市とやま	18	■教育	30
■都市の顔	4	■富山市の主な受賞歴	19	■産業	32
Vision of the Future	4	■富山市の特色ある施策	20	■協働	34
Culture and Art	6	ゼロカーボンシティ	20	■生活・防災	35
■とやまの歳事記[春夏秋冬]	8	コンパクトシティ	22	■TOYAMAP	36
		ガラスの街	24	■資料編	38



## ごあいさつ

富山市長  
藤井 裕久



富山市は、日本海側のほぼ中央に位置し、水深1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から標高3,000m級の北アルプス立山連峰まで標高差4,000mの多様な地勢と雄大な自然を誇り、また、古くから「くすりのまち」として全国にその名が知られるように、薬業をはじめとする様々な産業と高度な都市機能、そして、多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市として発展を続けています。

本市では、これまで「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の中心に据え、公共交通の活性化、公共交通沿線地区への居住推進、中心市街地の活性化などに取り組むとともに、雇用や教育、福祉、子育て、環境、文化など、様々な分野の施策を包括的に推進することによって、総合力の高い、誰からも「選ばれるまち」を目指してまいりました。

しかしながら、近年は、本格的な人口減少や少子・超高齢化の急速な進行、情報通信技術のめざましい発展など、都市を取り巻く社会環境が大きく変化しており、あらゆる変化に柔軟に対応できる、自律的で持続可能な都市経営がますます重要となってきております。

このことから本市では、これまで推進してきたコンパクトシティ政策のさらなる深化を図るとともに、ICT等の技術を活用したスマートシティ政策との融合を図ることで市民生活の質や利便性の向上を目指すなど、時代の潮流に柔軟に対応した施策を推進し、誰もが生きがいと幸福を感じながら明るい未来を展望できる「幸せ日本一とやま」を実現してまいりたいと考えております。

この市勢要覧は、現在の富山市の姿と、特色ある施策の一端を紹介するために編集いたしました。本要覧を通して本市の魅力を感じていただくとともに、さらなる市勢の発展にお力添えをいただければ幸いです。

Toyama City